

平成 24 年 11 月

関西広域連合議会総務常任委員会会議録

平成 24 年 11 月関西広域連合議会総務常任委員会会議録 目次

平成 24 年 11 月 10 日

| | | |
|---|----------------------|---|
| 1 | 議 事 日 程 | 1 |
| 2 | 出 席 議 員 | 1 |
| 3 | 欠 席 議 員 | 1 |
| 4 | 事務局出席職員職氏名 | 1 |
| 5 | 説明のため出席した者の職氏名 | 2 |
| 6 | 会 議 概 要 | 2 |

○議 事 日 程

開会日時 平成 24 年 11 月 10 日

開催場所 神戸市会 28 階 第 4 委員会室

開会時間 午後 1 時 31 分開会

閉会時間 午後 1 時 51 分閉会

議 第

1 付託議案（質疑、討論、表決）

- ・ 第 8 号議案 平成 23 年度関西広域連合一般会計歳入歳出決算認定の件

2 調査・報告事項

- ・ 第 26 回関西広域連合委員会の概要

○出 席 委 員 (27 名)

| | |
|--------------|----------------|
| 1 番 谷 康 彦 | 16 番 中 拓 哉 |
| 2 番 家 森 茂 樹 | 17 番 中 村 裕 一 |
| 3 番 吉 田 清 一 | 18 番 尾 崎 要 二 |
| 4 番 田 中 英 夫 | 19 番 福 間 裕 隆 |
| 5 番 山 口 勝 | 20 番 藤 井 省 三 |
| 6 番 中小路 健 吾 | 22 番 重 清 佳 之 |
| 7 番 上 島 一 彦 | 23 番 北 島 勝 也 |
| 8 番 杉 本 武 | 24 番 竹 内 資 浩 |
| 9 番 富 田 健 治 | 25 番 井 上 与 一 郎 |
| 10 番 横 倉 廉 幸 | 26 番 木 下 誠 |
| 12 番 岸 口 実 | 27 番 小 玉 隆 子 |
| 13 番 大 野 ゆきお | 28 番 西 村 昭 三 |
| 14 番 日 村 豊 彦 | 29 番 前 島 浩 一 |
| 15 番 山 口 信 行 | |

○欠 席 委 員 (2 名)

| |
|--------------|
| 11 番 吉 田 利 幸 |
| 21 番 山 口 享 |

○事務局出席職員職氏名

| | |
|-----------|---------|
| 議会議務局長 | 角 善 啓 |
| 議会議務局総務課長 | 田 中 基 康 |
| 議会議務局調査課長 | 立 石 和 史 |

○説明のため出席した者の職氏名

| | |
|-----------------|------|
| 関西広域連合長 | 井戸敏三 |
| 関西広域連合委員 | 矢田立郎 |
| 本部事務局長 | 中塚則男 |
| 本部事務局次長 | 桑野正孝 |
| 本部事務局次長（調整担当） | 村上元伸 |
| 本部事務局総務課長 | 田中基康 |
| 本部事務局企画課長 | 亀澤博文 |
| 本部事務局計画課長 | 立石和史 |
| 本部事務局国出先機関担当課長 | 中谷文彦 |
| 本部事務局課長（滋賀県担当） | 富永重紀 |
| 本部事務局課長（京都府担当） | 中島貴史 |
| 本部事務局課長（大阪府担当） | 松本正光 |
| 本部事務局課長（兵庫県担当） | 橋本正人 |
| 本部事務局課長（和歌山県担当） | 田嶋久嗣 |
| 本部事務局課長（鳥取県担当） | 亀井一賀 |
| 本部事務局課長（徳島県担当） | 折野好信 |
| 本部事務局課長（京都市担当） | 阿部吉弘 |
| 本部事務局課長（大阪市担当） | 間嶋淳 |
| 本部事務局課長（堺市担当） | 垂井究 |
| 本部事務局課長（神戸市担当） | 大石隆 |

午後1時31分開会

○委員長（日村豊彦） これより関西広域連合議会総務常任委員会を開催をいたします。

本日は、去る9月18日付で神戸市会から連合議員に選出をされました前島浩一君が本委員会に初めて出席いただいておりますので、ご紹介をいたします。

どうぞ、一言。

○委員（前島浩一） 初めての方もおられますので、一言ご挨拶をさせていただきたいと存じます。

ようこそ神戸市会にお越しいただきまして、心から歓迎を申し上げたいと存じます。神戸市会の代表で出ております前島浩一と申します。党派は民主党であります。

神戸はご存じのように、今日はお天気にも恵まれておりまして、海も綺麗に、また山も綺麗に見えております。ぜひともお時間のある方におかれましては、この後、今日の会議は大変お疲れだと思えますけど、是非とも1泊でもしていただいて、明日ゆっくり神戸を堪能いただければありがたいなあと、こんなふうに思っております。

今日も午前中というか、昼からずっと定数の検討部会のほうでいろいろ意見も述べさせていただきました。大分声もかかれておりまして、大変申しわけございません。この後はできるだけ静かにして過ごしたいと思っておりますので、どうぞこれからも親しくご交誼のほどをよろしく願い申し上げます。ありがとうございました。

○委員長（日村豊彦）　　また、徳島県の福山 守君が10月9日付で連合議員を退職され、10月12日付で徳島県議会から連合議員に選出されました重清佳之君が本委員会に初めて出席いただいておりますので、ご紹介をいたします。どうぞ。

○委員（重清佳之）　　10月12日付で関西広域連合議会議員に就任させていただきました徳島県議会の重清佳之でございます。党派は自民党でございます。微力ではございますが、分権型社会の実現に向けて一生懸命頑張っておりますので、どうかよろしく願いいたします。

○委員長（日村豊彦）　　なお、本日、吉田利幸委員及び山口 享委員は欠席です。

それでは、最初に、井戸広域連合長からご挨拶とともに、連合委員会関係の報告をお願いいたします。

井戸連合長。

○広域連合長（井戸敏三）　　それでは、私からご挨拶を兼ねて報告をさせていただきますと存じます。

初めに、関西広域連合議会総務常任委員会でございますが、この9月10日以来、兵庫県において、とりわけ今回は8月に京都市とともに加入された神戸市会で開催されることになりました。開会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

関西広域連合が、平成22年12月に発足して以来、1年10カ月が経過しました。冒頭申しましたとおり、京都市、神戸市の加入により、4政令市の加入が完了しました。府県レベルでの業務を行う広域連合として、機能、事業執行力が基本的に関西全体で担保され、今後一層、一体的かつ効率的に展開できるものと期待しております。

また、連合議会におかれましても、9月に神戸市会から新たに前島議員が選出され、4政令市からの議員も加えた29名の新たな体制がスタートされました。特に本日は全議員がそろそろ初めての場ともなっております。引き続き広域連合として、その役割を果たすべく、より一層、取り組みの実績を重ねてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

まず、関西広域連合の24年度の取り組みでございます。現在、広域防災、広域観光・文化振興、広域産業振興、広域医療、広域環境保全などの各分野の広域計画に基づき、広域防災での応援・受援や、広域観光での魅力発信を初め、それぞれの分野の取り組みに全力を挙げています。

また、節電・エネルギー対策の検討や、広域交通インフラの基本的考え方の整理など、関西共通の課題に積極的に取り組んでいます。とりわけ10月21日の広域連合委員会におきましては、この冬の電力供給状況等での議論を行いました。26日には、原発の安全確保と防災対策の確立、安定的な電力供給の確保について、政府関係省庁に申し入れを行っております。

さらに、11月8日には、この冬の電力需給見通しを踏まえ、平成22年度比で6%を目安として定着した節電の確実な実行を家庭や事業者に対して取り組むよう要請を行うことといたしました。

今後とも関西全体として取り組むべき課題につきまして、広域課題につきまして、積極的に対応していく広域連合としての役割を果たしていきたいと考えております。

続いて、広域防災への対応でございます。

兵庫県と神戸市が担当いたします広域防災におきましては、大規模広域災害時にスピー

ド感を持った応援による被害の軽減や、関西全体の防災力を向上させるための事前対策を実施することにしていきます。今年度は関西防災・減災プランに基づき、その災害対応のフォーメーションとオペレーションを基本に、広域応援の具体的な手順をマニュアル化した関西広域応援・受援実施要綱を作成し、関西全体としての災害発生時の広域応援体制を強化してまいります。

また、10月27日からの2日間、神戸空港島を中心に、近畿府県合同防災訓練を開催いたしました。今回の訓練は関西防災・減災プラン策定後の初の実動訓練でありました。航空機による物資等の輸送訓練、大型艦船による救護所の設置運営訓練、広域医療搬送訓練など、約180の関係機関、3,000人の参加のもと、広域かつ大規模な訓練となりました。九州地方知事からは、緊急派遣チームとして参加をいただきました。また、避難訓練では、加藤汽船の高速船「しゃるまん」の協力をいただきました。他地域や民間事業者とも連携した訓練を通じ、関西の防災力がさらに向上することを期待しております。

また、引き続き、原子力災害対策に取り組みますとともに、新型インフルエンザや鳥インフルエンザの蔓延時の対策の検討についても、順次、取り組んでまいります。

国の出先機関対策であります。残念ながら先の通常国会での関連法案の提出は実現しませんでした。しかし、樽床総務大臣は改革を前に進める意欲を示されております。また、川端前総務大臣や後藤前副大臣が、新たに党の調査会の役職に就任されました。今後とも政府・与党一体となって推進いただくことを期待しております。

私のほうからも、この国会中にはぜひとも法案の提出成立を期すべく、10月22日に樽床総務大臣、11月2日には後藤地域主権調査会事務局長と逢坂民主党総括副幹事長に、11月6日には川端地域主権調査会長に要請を行いました。地域主権改革におけるこれまでの関係者の努力を無駄にし、改革の成果を逆行させることのないよう、関西広域連合としましても、引き続き国への働きかけを強めてまいります。合わせまして、市町村や府県民の理解促進に取り組んでいきます。

一方、このような課題に加えまして、中長期的な視点で関西広域連合の今後のあり方を考えていくことも大切です。中長期的な視点で検討すべき課題としましては、まず、今後、一層困難な利害調整が必要となる中で、一丸となって目標に進むことができる広域連合の運営のあり方を検討する必要があります。第2に、広域計画の改定を控えて、中長期的なビジョンの検討を進めてまいります。第3に、関西の復権を実現するための民間との連携方策の検討を進める必要があります。

このような検討課題につきましては、今年度、関西広域連合協議会に各分野ごとに分科会を設置していただき、8月以降、精力的にご意見をお聞きしております。また、既に8月の広域連合委員会において、平成26年度からの3年間を対象期間とする広域計画の改定作業に着手することを決定しました。現在、検討体制やスケジュールの検討など、改定に向けた具体的な作業に取り組んでおります。

今後、平成25年度末の連合議会での議決をいただくことを目指しまして、連合議会を初め有識者や連合管内市町村など、幅広くご意見等を伺いながら、改定作業を進めてまいります。

本日は平成23年度関西広域連合一般会計歳入歳出決算認定についてご審議いただきますとともに、引き続き開催する防災医療常任委員会においては、室崎関西学院大学教授から

南海トラフ巨大地震を踏まえた対策についてお話をいただくこととなります。最後までどうぞよろしくお願いを申し上げまして、私からのご挨拶と報告とさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

○委員長（日村豊彦） ありがとうございます。次に、矢田広域連合委員から一言ご挨拶をお願いいたします。

○広域連合委員（矢田立郎） この8月に広域連合に加入をさせていただきました神戸市でございますが、今日は早速、この総務常任委員会を神戸市で開催をしていただきましたことに、厚く御礼を申し上げたいと思います。

神戸市は、兵庫県とともに広域防災を担当させていただくということでございます。この関西広域連合におかれましては、既に東日本大震災に向けて、カウンターパート方式をもって、東北3県に向けて分担を決めて対策をとられたわけでございますが、神戸市もその範疇の中で、宮城県を中心として対策に当たってまいりましたし、また現状は、岩手県のほうにも要請がございましたので、復興に向けての取り組みに対しまして尽力をいくつもりでございます。今後とも皆様方とともに力を合わせて、この東日本に向けての復興支援を進めていきたいというふうに考えておるところでございます。

この関西広域連合では、今年度におきまして、関西防災・減災プランということで、原子力災害対策編の本格策定、そしてまた、来年の2月に広域連合における南海トラフ巨大地震を想定した、大規模な広域図上訓練を神戸市の中でやっていただくというふうにお聞きしてございます。ぜひそういった点を重ねることによって、これに備えるということが重要であるという認識でございます。よろしくお願いを申し上げたいと思います。

神戸市、兵庫県ともに阪神淡路大震災を経験をした被災地の自治体でございます。そういう観点からも、広域の防災担当として、これからの対策について、皆さんのまたご意見もお聞きしながら進めていきたいというふうにも考えてございますので、どうかよろしくお願申し上げます。

○委員長（日村豊彦） ありがとうございます。本日の理事者側の出席者につきましては、お手元に名簿を配付しておりますので、ご覧おき願います。

それでは、付託議案の審査に入ります。

本委員会に付託されている議案は、8月定例会提出第8号議案「平成23年度関西広域連合一般会計歳入歳出決算認定の件」についてです。

付託議案につきまして、本部事務局から説明をお願いいたします。

田中総務課長。

○本部事務局総務課長（田中基康） 平成23年度の一般会計の歳入歳出決算の関係でございます。ご付託をいただいております資料1をご覧くださいと思います。

3枚ほどおめくりいただきますと、左側、歳入のページがございます。上のほうから、いわゆる構成団体からの負担金、これが3億7,400万円、それから2番目としまして、国庫支出金、ドクターヘリの分、9,100万円、それから、平成22年度からの繰越金、これが設立時からの初めての繰り越しで、非常に多ございましたが4,600万円、それから、さらに、これは今の4,600万円を地方財政法に基づきまして半分は基金に積み立てなければならない、これを取り崩したお金でございますので、予算的には4,600万円の内数ということになります。2,300万円を改めて一般会計に繰り入れて、歳入とさせていただいたとい

うことで、都合5億3,587万4,000円ということになってございます。

中段のところ、収入済額のところでございますが、5億2,121万6,000円で、一番右端、下のところですが、△1,465万7,000円となっております。これは余分な負担金をいただかないようにということで、補正後ではあります、3月に最終的に負担金を請求させていただくときに、歳出の状況を見て、1,400万円余りを負担請求を減じさせていただいたものです。

一方、この右側のページを見ていただきますと、歳出でございますけれども、上のほうから5つの款を立てております。5つの款、議会費、総務費、それから事業費、公債費、予備費というふうに、現実としましては1、2、3番の議会費、総務費、事業費、総務費のところは専ら本部事務局に係るものというイメージを持っていただくとよろしいのですが、事業費は各分野に係る事業費ということで、先ほどの収入と同じように、最終予算5億3,587万4,000円でございます。これにつきまして、先ほどちょっと申し上げましたように、最終的な支出はさらに縮減できるだろうということの見込みで1,400万円の歳入負担金を減じておったわけですが、本当の最後、くくりましたところ、5億1,527万9,000円ということで、2,000万円余りの縮減になりました。結果として、593万7,000円の歳入歳出差引残額ということになってございまして、これがいわゆる実質収支ということになります。

主なものとしては、この歳出の中段のあたりに事業費、広域医療費というふうを書いてございますけれども、645万9,000円ということで、いわゆるドクターヘリの事業費について、少し最終的な見積もりが甘かったのかなということで、さらに、残余が出たということになってございます。監査委員のほうからも執行見込みの精度をさらに高くすべしというようなご指摘もいただいております。

なお、以下、事項別、各項目につきましては、6ページ以降に記載しておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○委員長（日村豊彦） それでは、ただいまの件につきまして、質疑はございますでしょうか。

（「なし」との声あり）

○委員長（日村豊彦） ないようでございましたら、採決をいたしたいと思っております。

ただいま採決に付しました第8号議案を原案どおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

○委員長（日村豊彦） 異議なしであります。よって、第8号議案は原案どおり可決をされました。

ただいまの第8号議案につきましては、11月22日に開催予定の11月臨時会におきまして、委員長報告を行います。

委員長報告につきましては、委員長にご一任いただけますでしょうか。

（「異議なし」との声あり）

○委員長（日村豊彦） それでは、そのようにさせていただきます。

次に、調査報告事項であります。連合委員会の概要等につきましては、冒頭、井戸連合長から報告のあったとおりでございますが、何か発言がございましたら、どうぞお願いいたします。

(「なし」との声あり)

○委員長（日村豊彦） ないようでございますので、以上で本日の総務常任委員会を終了をいたします。

このあと引き続き防災医療常任委員会が開催されますので、しばらくお待ちください。
ありがとうございました。

午後 1 時 51 分閉会

関西広域連合議会委員会条例（平成23年関西広
域連合条例第14号）第28条第1項の規定により、
ここに署名する。

平成24年12月

総務常任委員会委員長 日村 豊彦